



大垣市政・経済記者クラブ 同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年9月18日(水) 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	小竹・成瀬	TEL 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420
富加町教育委員会教育課	—	島田	TEL 0574-54-2177 FAX 0574-54-2461

## 富加町連携セミナー 「織田政権の北方の要 加治田城・津保城を考える」を開催します (参加者募集)

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下、記念館）では県内市町との連携事業を実施しており、今回、富加町と連携したセミナーを下記のとおり開催します。

本セミナーでは、織田政権の北方の要とされる加治田城や津保城と、その地域史の重要性について、富加町、関市、及び本年8月に開催された第48回全国高等学校総合文化祭・郷土研究部門（歴史・考古部門）にて最優秀賞を受賞した岐阜県立関高等学校地域研究部が連携して行った調査研究について紹介します。

### 記

- 1 開催日時 令和6年11月2日(土) 13:30～15:00 (開場13:10)
- 2 受付場所 記念館3階セミナールーム (不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55)
- 3 内容及び講師 中濃の要衝であった加治田城が織田方に内応したことをきっかけとして、永禄8年(1565)に織田信長による東美濃攻略戦が始まりました。最大の激戦地は富加町夕田にある堂洞城でした。これに勝利した信長は、2年後に岐阜入城を果たし美濃を手中におさめます。加治田城はその後、斎藤道三末子で当時は信長の馬廻衆だった斎藤新五の居城となり津保城(関市)なども拠点としながら、北方の上杉氏との交渉や浅井・朝倉氏や武田氏に対する織田政権の北方の要の役割を果たしました。これらの城と地域史の重要性について富加町・関市・関高等学校地域研究部で積み重ねてきた調査研究をご紹介します。

- ①演題 「織田政権と加治田城」  
講師 島田 崇正 (富加町教育委員会 文化財専門官)
- ②演題 「遺構からみた津保城」  
講師 森島 一貴 (関市文化財保護センター 学芸員)
- ③演題 「東美濃三ヶ城とは」  
講師 岐阜県立関高等学校 地域研究部

- 4 定 員 100名 ※応募者多数の場合は先着順

- 5 参加費用 無料（別途、記念館への入館料が必要となります）
- 6 申込方法 **【応募フォーム】**  
<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p6309/>（記念館公式HP）  
**【往復ハガキ】**  
〒503-1501  
岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55  
岐阜関ヶ原古戦場記念館 富加町連携講演会担当者 宛  
※住所、氏名、電話番号、申込人数を明記してください。
- 7 申込期間 9月18日（水）から10月27日（日）まで  
※往復ハガキでお申し込みの方は10月25日（金）記念館必着でお申し込みください。

#### **【講師紹介】**

**島田 崇正**（富加町教育委員会 文化財専門官）

富加町郷土資料館長を務める。富加町が中心になって制作した歴史マンガ『夕雲の城』、『斎藤新五利治』の監修や資料集の作成を担当した。

**森島 一貴**（関市文化財保護センター 学芸員）

関市内の文化財保護や発掘調査に携わる学芸業務の傍ら、関市の城郭や関町の成立についても研究を行う。

#### **関高校地域研究部**

考古学や歴史学に関する研究や実践を通して、全国で発表・発信を行う。自治体と連携した調査研究という先進的活動も実施。

加治田城・津保城の研究では令和6年度日本考古学協会高校生ポスターセッションにて優秀賞を獲得。本年8月に開催された第48回全国高等学校総合文化祭の郷土研究部門（歴史・考古部門）では、最優秀賞を受賞。